

sanwa



OPTICAL POWER METER

**OPM-360**

**sanwa**

発売元

**三和電気計器株式会社**

本社=東京都千代田区外神田2-4-4・電波ビル  
郵便番号=101-0021・電話=東京(03)3253-4871(4)  
大阪営業所=大阪市浪速区恵美須西2-7-2  
郵便番号=556-0003・電話=大阪(06)631-7361(4)

製造元

**三和M.I.テクノス株式会社**

東京都羽村市神明台4-7-15  
郵便番号=205-0023・電話=(042)578-1411

取扱説明書

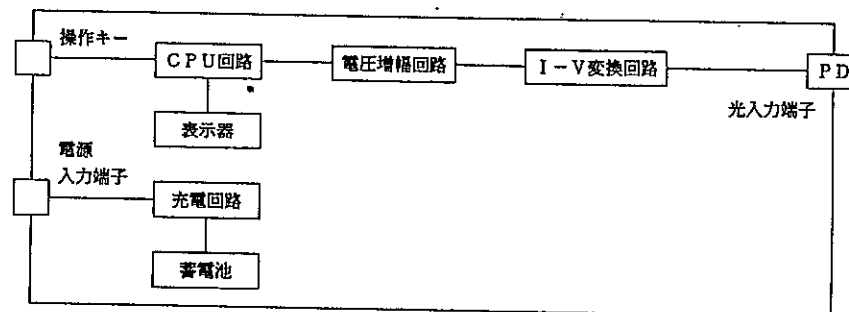
## はじめに

このたびは、三和光パワーメータOPM-360をお買い上げいただき、まことに有り難うございます。  
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。  
また、この「取扱説明書」を大切に保存しておいて下さい。

### △ 注意

1. 規定値を越える光の入射はフォトダイオードの破壊につながることもありますので、規定(1mW)以上の光を入射しないでください
2. 本器は、充電式電池を内蔵しております。  
この内蔵電池でご使用中、LCDに「**B**」マークが表示されると電池電圧の低下を示しています。  
ただちに電源入力端子に専用ACアダプタをつなぎ、充電を行ってください。

## ブロックダイアグラム



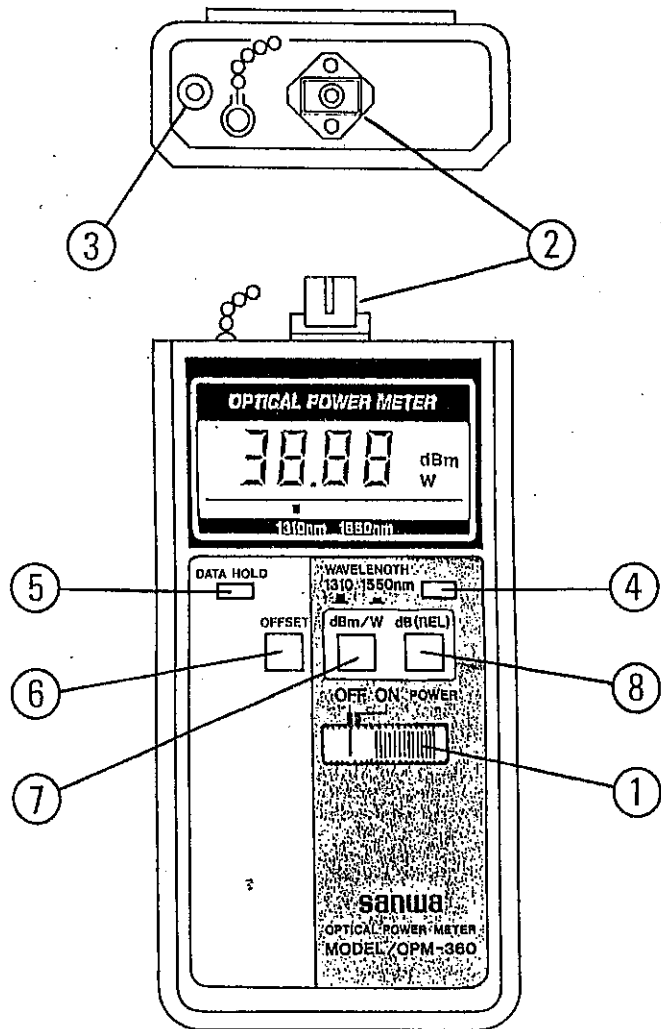
## 光パワーメータ OPM-360 仕様

表示受光パワー	4桁デジタル表示
測定範囲	-60.00~0.00dBm
直線校正波長	1310nm、1550nm
測定精度	±5%(-23dBmにて)
測定モード	絶対値：dBmおよびW 相対値：dB(REL)
光コネクタ	SC型
電池消耗警告機能	内蔵電池電圧が規定電圧以下で警告表示 (LCDに「 <b>B</b> 」マーク表示)
電池動作時間	12時間充電後、連続使用時間8時間以上
使用電源	内蔵充電式電池(ACアダプタで充電)および専用 ACアダプタ(AC100±10V、50/60Hz入力)により動作
外形、重量	85×164×35(mm) 突起部分は除きます 400g

## 標準添付品

標準添付品	数量
ACアダプタ (AD-30)	1
取扱説明書	1

各部名称

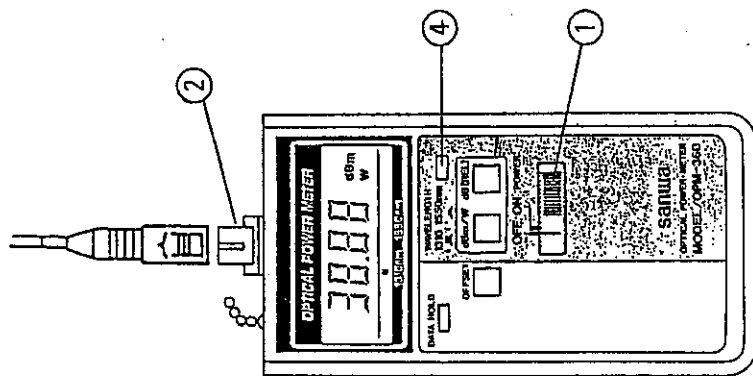


機能説明

記号	名称	機能
①	電源スイッチ	電源のON・OFF用スイッチです。
②	光入力端子	光信号の入力端子です。 SC型コネクタにかん合します。
③	電源入力端子	ACアダプタの接続端子です。 ACアダプタを接続すると内蔵電池の充電 およびACアダプタでの動作が可能です。
④	波長切替スイッチ	直続校正波長(1310nm/1550nm)の切替用の 押しボタンスイッチです。
⑤	データホールド スイッチ	押しボタンスイッチを押すと、表示値が保持され ます。
⑥	オフセット キー	受光センサのオフセット用のキーです。 オフセットの際には、光入力端子をキャップで遮 光した後、キーを押して下さい。
⑦	dBm/Wキー	受光パワーの絶対値測定キーです。 電源スイッチON後の初期状態では、必ず (dBm 表示)に設定されます。 キーを押すと(W表示)に切り替わります。 再度押すと(dBm 表示)にもどります。
⑧	dB(REL)キー	受光パワーの相対値測定キーです。 キーを押した時点での表示(A dBm)を基準値 として記憶し、光変動後の測定値(B dBm) との相対値をdB単位で表示します。

$$REL(dB) = BdBm - AdBm$$

## 測定方法



1. 電源スイッチ①をオンします。
2. 波長切替スイッチ④を設定します。
3. 測定を行う光コネクタ付ファイバを光入力端子②に接続します。レベル表示範囲は0～-60 dBmです。

## ・損失計算例

1. 短尺の光コネクタ付ファイバ (3m) で、光出力の測定をします。(P<sub>1</sub> dBm基準値)
2. 光損失測定を行う光コネクタ付ファイバで、光出力を測定します。(P<sub>2</sub> dBm値)
3. 光損失P<sub>0</sub> (dB) は、P<sub>0</sub>=P<sub>2</sub>-P<sub>1</sub>の方式で求められます。  
例えば P<sub>1</sub>=-15.00 dBm, P<sub>2</sub> = -18.50 dBm とすれば  
$$\therefore P_0 = -18.50 - (-15.00) = -3.5$$
損失は3.5 dB となります。

## アフターサービスについて

1. 保証期間はご購入日より3年間です。
2. 修理については下記のようにお願いします。
  - ①保証期間中の修理
    - ・保証書の記載内容によって修理させていただきます。
  - ②保証期間経過後の修理
    - ・修理によって本来の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理させていただきます。
    - ・修理費用や輸送費用が製品価格より高くなる場合もありますので事前にお問い合わせください。
    - ・本品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年間です。補修用性能部品保有期間を修理可能期間をさせていただきます。購買部品の入手が製造会社の製造中止などにより不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もありますのでお含みおきください。
  - ③修理品の送り先
    - ・製品の安全輸送のため、製品の5倍以上の容積の箱に入れ、十分なクッションを詰めてお送りください。
    - ・箱の表面に「修理品在中」と明記してください。
    - ・輸送にかかる往復の送料はお客様のご負担をさせていただきます。

【送り先】 三和M.I.テクノス株式会社・サービス課

製造元：〒205-0023 東京都羽村市神明台4-7-15

TEL：(042)578-1411

FAX：(042)578-1414

## お問い合わせ

- ・一般にお問い合わせ 製造元あるいはご購入の代理店
- ・技術にお問い合わせ 製造元まで。